



| | |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| Title | a+a 美学研究 第10号 奥付 |
| Author(s) | |
| Citation | a+a 美学研究. 2017, 10 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/90170 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

雑誌の再出発によせて 008

プラトン『法律』における「テアトロクラティア」
——沈黙する観客からポリス全体による歌舞へ
田中 均 010

香りのアートはなぜ面白いのか
——従来の「身体論」を越えて
岩崎陽子 024

芸術の名においてジェノサイドを見ること
——S-21写真に向かうド・デュヴの視点
竹中悠美 038

過去との出会い
——映画『オルフェの遺言』のなかのコクトー
谷 百合子 054

芸術と狂気 | 横道仁志 069
古典主義の聴覚 | 土田耕督 071

E・パークと一七七〇年代の英国プリストル陶磁器
——クエーカー商人R・チャンピオンとの蜜月関係
桑島秀樹 072

日本のデザイン様式考
——その相反する側面に関する現象学的分析
要 真理子/前田 茂 084

日常に根ざすアートとアートセラピー
——「エンバワメント」概念によって見えてくる構図
石原みどり 096

マイノリティのパフォーマンスを引き出すメディア空間
——『フリークスター3000』にみる空間の多重化
古後奈緒子 110

風景と雰囲気
立野良介 118

美を知る | 横道仁志 133
詠吟の構成主義 | 土田耕督 135
作品が修理できなくなったとき | 福元崇志 137

執筆者紹介 143

a+a 美学研究

第10号

発行日 2017年3月31日

編集委員 高安啓介
田中 均
横道仁志
河口 篤
田添聖史
吉野裕太

編集・発行 大阪大学大学院文学研究科美学研究室
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

装丁・組版 松本久木

印刷・製本 株式会社ケーエスアイ

©2017大阪大学美学研究室

Printed in Japan

ISSN 1346-1095

『a+a美学研究』は、美学の知をより多くの方々と共に共有できることを目指しています。新しい研究を紹介する学術雑誌としての機能を保ちながら、美学への理解を深めたい学生にとっても、芸術に興味のある読者にとっても、知の道標となるような特集をこれから組んでいきます。捨てられないように、1冊の本のような価値のある冊子にしてゆきます。大阪大学美学研究室は、この雑誌の編集にあたって、コミュニケーションの様態への関心から、知の内容だけでなく知の形式についても反省をめぐらし、見出された知見がいかに社会のうちに浸透していくのか、重要と思われる事柄がいかに社会のうちに共有されるのか、美学の思考をそこまで駆り立ててみたいと思います。